学校番号	1011

令和８年度　(専)美術科

教科	(専)美術	科目	(学)絵画入門Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

アクリルまたは油絵の具の特性を学び、表現する喜びを味わいます。絵画制作の基本から、各自の個性を表現する応用までを学びます。最初に一枚石膏デッサンを描き、基本の技能練習課題を通して基本的な描写力を身に着け、最終的に各自自分の描きたいモチーフを選び１０号～３０号のキャンバスに絵を描きます。各学期の最後に完成した絵を教室の前に全員展示して合評会を行います。上手い下手ではなく、作者がどれだけ心を込めて描いたかを本人に語ってもらい、みんなで感想を述べ合います。

2　学習の到達目標

・表現形式の特性を生かし，形体や色彩，構成などについて考え，創造的な表現の構想を練ることができる。
・表現方法を創意工夫し，主題を追求して創造的に表すことができる。
・主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み，生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，美術文化に親しみ，心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	造形的な良さや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成して創造的に発想し、構想を練り、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めている。	主体的に絵画の幅広い創造活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	石膏デッサン	第2美術教室においてある石膏像を鉛筆デッサンする。	a:影をしっかりと認識している b:形を正確に描写できている c:画用紙いっぱいに描こうとしている。	作品	作品	授業観察 作品
	基礎練習	・遠近法についてのプリント学習 ・遠近法を意識した作品づくり	a:遠近法を理解し意識している b:効果的な表現ができている c:最後まで完成させようとしている。	作品 プリント	作品 プリント	授業観察 作品 プリント
2学期前半	風景画下絵	・遠近法を意識した写真を撮る(モチーフを作る) ・下絵を描き、完成イメージを持つ。	A:遠近法を意識できている b:写真の段階から構成を考え、意図に応じて工夫している表現したいことを明示できている。 c:自分なりにしっかりと取り組もうとしている。	作品	作品	授業観察 作品
	風景画	・下絵に基づいてキャンバスボードに下書きを行い、アクリル絵の具(または油絵具)で着彩する。 ・完成したら合評を行う	a:イメージ通りに下書きできる b:描きたいイメージに近づけるために工夫をしている c:最後まで諦めずに取り組もうとしている。	作品	作品	授業観察 作品
2学期後半	模写	・有名な絵画作品から一つ選び、拡大模写を行う。	a:補助線を正確に引ける b:元の絵の表現の工夫を発見し、再現を試みている c:色彩や表現の細かい所まで模写しようとしている。	作品	作品	授業観察
	自由課題の下絵	・色鉛筆を用いて下絵を描く。 ・下絵を元に10号～30号のキャンバスに描く。	a:何を描きたいかを明示できる。 b:魅力的な絵画になるように構図を考えている。 c:意欲的に取り組もうとしている。	作品	作品	授業観察 作品
3学期	自由課題絵画	2学期の続き 完成したら合評会	a:計画に沿って制作できる b:意図に応じて構図や色彩を工夫できる c:最後まで完成させようとしている。	作品	作品	授業観察 作品 プリント

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度